

忠南大学校

今の時期に韓国に行くことに多少の不安があったので、忠南大学校の皆さんが私たち宮学生を歓迎してくださったのがすごく嬉しかったです。最初に宮城県の紹介をしてくださった中に、私も知らなかったようなことまで詳しく調べたあったのが印象的でした。また、韓国の文化についての講義は、とても分かりやすく、あまり知らなかった韓国の四季を通した行事などを詳しく知ることができて良かったです。人形作りも苦戦しましたが、学生の皆さんに助けをもらいながら完成させることができました。三回発表を機会があった一日ですが、どの方も詳細に調べてらしたので、韓国の方の真面目さを知ったような気がします。お三方はとても流暢な日本語でしたが、外国語で発表するのはすごく大変なはずなのにすごいと思いました。他には学食に行けたのが良かったです。バイキング形式なのに一律料金なのが良かったです。辛いものが苦手なのにキムチをとりすぎて後悔しましたが、とても美味しかったです。この時に忠南大学校の学生の方が席に案内してくれたりいろいろ教えてくれたのがとても親切で嬉しかったです。韓国の方の親しみやすさというか、人の好さを知った一日だったと思います(S・Mさん)。



韓国文化探訪リサーチ

地下鉄で移動するのに便利な交通カードを買って、大眞大学校の2人の学生さんと目的地であるソウル南山国楽堂にある美秀茶に向かいました。韓国の地下鉄は結構複雑なように感じましたが、2人の学生さんのおかげで着くことができました。写真を撮ってくれたり一緒に写ってくれたりして良かったです。昼食は仁寺洞でいろいろな韓国料理を食べました。その後メドゥプ工房へ行きお店の人が言う韓国語を日本語で話してくれて内容を理解することができました。韓国のお菓子やお茶を食べたり飲んだりすることができて充実した一日となりました。道を歩いているときにはここがどういう場所なのかとか建物につい



て説明してくれたので一緒にいて飽きることはありませんでした。昼食の時には韓国と日本の学校について話し、いろいろ違うのだなと思いました。日本では高校の方が部活などの上下関係があって、大学はだれが先輩でだれが後輩かということはありません。韓国はそれとは逆で高校は比較的自由に大学は上下関係がはっきりしているということを聞きびっくりしました。2人の学生さんがいたからこそいろいろな場所に行けたので感謝しています(D・Kさん)。

徳沼高校

韓国の高校生はとても人懐っこくて、腕を組んで、相合傘で食堂まで移動しました。初対面だとは思えない距離感で、日本との違いだと思いました。あまり上手ではないものの、通訳のリーダーが一人で頼れないため、ケータイなどの辞書機能を使って一生懸命会話をしてくれました。また、ICTを活用した授業では、とても元気で、積極的な姿が印象的でした。お土産にたくさんのお菓子や韓国のりなどをくれて、やる気に溢れる高校生との出会いは、忘れられない思い出になりました(O・Aさん)。



国際交流基金ソウル日本文化センター 日本語講座

今まで見学してきたクラスは学生を対象としたものだったので、生活にかかわる表現が中心でしたが、社会人を対象としたこの日のクラスでは、授業内容に、発音トレーニングといった正しいイントネーションを身につけるための練習を取り入れてあり見学していて勉強になりました。ペアになったのロールプレイは、敬語の使い方を主に注意して会話する内容になっていて、日本語は場面によって敬語の丁寧さが違うというのは説明が難しく、実際に日本で生活することで身に付くだろう表現が多いので、説明するのが難しいと感じました。私のペアの方は日本で専門学校を卒業し、何年か日本の会社に勤めていたという方で、場面にあった敬語を使うことができ、日本人と変わらない日本語を使う方だったので、外国語をそこまで自分のものにできるということに尊敬しました。授業後にどのようにして日本



語を身につけたかや、効果的だった勉強方法、私がどう韓国語を勉強しているかなど、お互い日本語、韓国語の勉強の仕方で話が弾んで、社会人の方とどう会話したらいいのだろうと少し心配していたのですが、楽しく会話することができました(I・Yさん)。

戦争記念館

韓国の歴史は言わずもがな自分の国の歴史についても曖昧な知識しか持っていない自分がとても恥ずかしくなりました。主に625戦争についての説明を受けたのですが、日本の側から何も知らずに「朝鮮戦争」と呼んでしまっていたことから、わたしは間違っていたことを知りました。韓国の為にいろんな国から派遣されて戦ったという事実に心が打たれました。今の日韓関係や、昔の日本と韓国の植民地支配のことなどが頭から離れずに不安な気持ちが消えなかったのですが、説明して下さった方から、「今の時代にも昔の時代にも、悪い政治家がいただけであって、自分たちとみなさんとの関係にそのことで変化が生じることはない」という言葉をもらったときにはとても感動しました。誠実に自分たち日本人と向き合ってくれた韓国人のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。日本語教師として外国の人と付き合いしていくためにはその国のバックグラウンドを知ることがとても重要だと痛感しましたが、それ以上に日本人としてもっと他の国に対して興味を持って、もっと本質の部分で付き合いがいけるようになりたいと思いました。4D体験も貴重だったし、記念館自体もタッチパネル式が多くて、進んでいると感じました(Y・Mさん)。



N ソウルタワー

ソウルタワーからの景色は絶景でした。終始歓声を上げながらの観覧になりました。お土産も素敵なものがたくさんありました。テディベアミュージアムは本当に楽しかったです。ただテディベアが展示されているだけではなく、韓国の歴史や街の風景などが再現されていて、一つ一つ違った表情があって可愛らしかったです。説明文が英語と



ハングルで、読めないものもたくさんあって、もっとじっくり見て回りたいので、また行きたいと思いました(M・Sさん)。

トロハウスでの韓国語学習

私はハングルから教わりましたが、まず母音が多いことに驚きました。ハングルは子音と母音の組み合わせでできているので覚えれば簡単かな?と思いましたが、パッチムが加わると一つの文字を読むのでさえ難しくなっていました。日本語では「ん」は1種類だけですがハングルでは「ん」の表記が3種類あり、その違いがすぐには分からなかったのも、やはり外国語の習得は努力が必要なのだと感じました(K・Sさん)。



日本語学習者との交流会

初心者らしいのだが、こちらも交流しようとする気合があって、平仮名は大体読めているし、会話をしていると単語力もあるように感じた。「分からない所があったら言ってください」「分からない??」なるほど分からないが分からない…→disunderstand→分かる+ない!で通じた時はなんだか嬉しかった。「若者」=young peopleと伝えたら、それにあたる韓国語がちょっと違うことや、他の文章が少し間違っていることなど、お互いに教え合ったが、こちらよりお2人の方が吸収が早い。「すごいね～」など使いこなしていた。私は韓国語が全くできないので英語を間に挟んで伝えることが多かったが、正直英語は苦手である。おひとりから主に英語でメールが来たのだが、返信文に苦労している(I・Aさん)。



自由行動

自由行動では、弘大と梨大で買い物をした。弘大はたくさんカフェがあり、洋服屋もたくさん並んでいるが、そこまで人が多くなくとも買い物しやすい街だった。そのあとは梨大に移動して、文化探訪リサーチの交流会で仲良くなったミセリさんと会って梨大を案内してもらった。途中梨花女子大学の中も少し入った。街中にある女子大学は普段の私たちの生活から考えるととても不思議



だった。土曜日は大学が開放されているらしく、家族連れやカップルの姿が多く、公園のような憩いの場になっているようだった。一緒にカフェでお茶もしたが、飲み物もワッフルも基本的にボリュームがある気がして、とても美味しく頂いた。そこから、また文化探訪リサーチで仲良くなったギムンさんとジソプさんとヨンジョさんと合流して、新村でごはんを食べた。そこでは、チャンポンタンというとても辛い海鮮のスープを飲んだが、とっても辛くてみんなでむせながら食べた。最後に本当に辛い料理を食べることができてとてもよかった。自由行動の日にまた仲良くなった現地の人と会えるとは思っていなかったなので、すぐ連絡をとりあってよかったと思った。とても楽しい最後の夜だった(K・Jさん)。